



## 大会特別規定

本大会は、九州地区の少年硬式野球団体同士の交流により、少年野球の普及と発展を図ることを目的とする。大会開催目的に賛同する団体は、主催者と各団体代表者の承認をもって参加することができる。大会運営にあたり、大会特別規定を定める。

- 1 本大会に参加する団体は、毎年12月上旬に行われる第1回ホークスカップ運営委員会開催1週間前までにリーグ事業計画書および加盟チームメンバー表を提出する。
- 2 新たに本大会参加を希望する団体については、活動年数2年以上と開催前年度の5月末までに九州地区に支部設立・連盟登録を完了していることを前提とする。

(2012年4月27日改正)

- 3 加盟団体を変更したチームは、原則的に直近の一大会参加を不可とする。
- 4 登録チームを変更した選手は、原則的に直近の一大会参加を不可とする。
- 5 上記1～4以外の項目について、疑義が生じた場合は運営委員会にて協議する。
- 6 本大会に参加できる選手は所属団体の規定を満たすものとする。ただし、本年度5月末日の時点で登録されたチーム以外からの参加は認められない。

- 7 チームは単独チームとし、代表1名・監督1名・コーチ1名 ※マネージャー1名と選手20名の計24名にて編成される。(大会出場補助規定による)

\*マネージャーは、スコアラーとしてベンチに入ることができる。なお、マネージャーをコーチとして登録する場合、背番号は他のコーチと異なる番号で登録しなければならない。

- 8 選手・監督・コーチは原則として同一のユニフォームを着用すること。所属団体に特別な規定がある場合はそれを優先する。

※背番号は所属の団体の規定どおりとする。

- 9 本年度公認野球規則と各所属団体代表者による協議にて大会特別規定を設定、試合を行う。

- ①各チームの主将は試合開始予定時刻40分前、または前試合3回終了後(コールド試合の場合は試合終了次第)所定のメンバー表(5部)を本部に提出し、同時に審判員立会いの下、ジャンケンにより攻守の順を決める。

※連続して試合を行なうチームは、試合終了後速やかに提出する。

- ②試合イニングとコールドゲームは各試合7回戦制とし、コールドゲームは4回終了以降10点差とする。

(ただし、決勝戦はコールドゲームを適用しない)

- ③試合時間制限と延長戦は、試合開始から2時間を越えて新しいイニングには入らない。

時間制限による終了、または7回終了後同点の場合は、延長戦を\*エキストラ方



式で2回行う。さらに同点の場合は、最終回のメンバー（9人）による抽選で試合を決する。決勝戦の延長は9回まで行い、10回から12回までの3回は\*エキストラ方式で行う。

さらに同点の場合は、最終回のメンバー（各9人）による抽選により試合を決する。 ※抽選方法の詳細は、「大会特別規定・補足」14を参照。

\*エキストラ方式：攻撃側は、前回の最後に打撃を完了した次の打者より始め、走者はその打者の前位3名がその打順に従い3・2・1塁に付き、一死満塁から試合を始める。

④天候不良などによる試合続行不可能の場合は、4回終了をもって正式試合とする。

⑤投手の投球回数制限は、ダブルヘッダーでの連投を認めるが同一日に7回を越えて投球することはできない。

また、端数回数（0/3回、1/3回、2/3回）は試合ごとに切り上げて1回に数える。

⑥タイムの時間・回数・指示場所の制限を設ける（野球規則8・06は適用しない）。詳細は、「大会特別規定・補足」6-⑥を参照。

⑦危険防止のため選手が打席に入る場合は、必ず両耳付ヘルメットを着用。また、走者になった場合も必ず着用すること。捕手は守備につく際、防護用ヘルメットおよび保護カップを着用すること。ブルペンでの練習時もキャッチャーマスクを必ず着用すること。

⑧臨時代走は、特別な理由（死球など）により、一時的に休むことにより試合に出場できるものと審判員が判断した場合に限り適用できる。

この臨時代走は、出場している選手に限られ、投手と捕手をのぞく打撃を完了した直近の者とする。

⑨試合で使用する用具の安全点検（用具審査）は、試合前のシートノックの際に行なうものとする、なお用具審査は審判員により行なわれ、万一、不良用具と判断されたものは、試合中ベンチより除かれるものとする。

- 10 各チームの責任者は、大会期間中選手の行動ならびに観客席での応援などに対し責任を負うものとする。なお、応援に際しての楽器の使用は一切認めない。
- 11 審判員に対する申し出は監督が行う。ただし、審判員のジャッジには抗議できない。
- 12 傷害処置については、大会期間中の負傷または疾病に対して応急処置は施すが、それ以上の責任を主催者は負わない。



## 大会特別規定・補足

- 1 球場に到着したチームは、速やかに本部に到着した旨を報告し、メンバー用紙を受け取ること。
- 2 ベンチは組み合わせ表の上段（左側）のチームを1塁側とする。
- 3 グラウンドインから試合終了まで、23名（監督、コーチ、マネージャーor スコアラー、登録選手）以外はベンチに入ることができない。
- 4 グラウンドインしたチームは競技委員の指示のもと、速やかに試合前の練習を行なうこと。
- 5 試合前のシートノックは5分間とする。ただし、ダブルヘッダー2試合目のシートノックはしない。
- 6 試合をスピーディーに行なうため以下の項目を守ること。
  - ①攻守交代時に守備に移るチームが速やかにポジションにつくことはもちろんのこと、攻撃に移るチームも第一打者とベースコーチは、ミーティング（円陣）に加わらず、所定の位置に速やかにつくこと。
  - ②投手は投手板に触れている状態で、捕手からサインを受けること。
  - ③打者は、みだりにバッタースボックスを出ることは許されない。たとえタイムを要求しても審判員がタイムを宣告しない時はインプレーとする。
  - ④次打者は必ずネクスト・バッタースボックスに入り、膝をついて待機すること。危険防止を踏まえた上で、片膝をついてスイングすることは、場合により認められる。また、ネクスト・バッタースボックスには、次打者以外はいることはできない。
  - ⑤捕手は投手に返球する際、また野手に声をかけるために一球ごとにホームプレートの前に出ないこと。
  - ⑥タイムの時間・回数・指示場所の制限（野球規則 8・06 は適用しない）攻守ともに指示・伝達は 30 秒以内とし、1 試合各 2 回の計 4 回を限度とする。延長に入った場合は 1 回の指示・伝達を認める。（選手の怪我や交代によるタイムは回数にカウントしない）指示・伝達で選手がマウンドに行くことは許されるが、監督またはコーチが直接指示・伝達する場合は、ファウルラインを超えてはならない。
- 7 試合中、グラウンド内での練習制限危険防止を踏まえたうえで、グラウンド内の投球練習（キャッチボールを含む）を2組まで認める。

素振りや、代打者として出場予定の控え選手（1人）のみ認める。

試合中、次の試合のチームは、グラウンド内で練習をしてはならない。しかし、グラウンド外に投球練習場のない球場についてのみ、5回以降試合中の監督の了解のもと先発バッテリーのみ投球練習を認める。ただし、次チームに投球練習を認めた場合は、それを含む2組とする。



※危険防止のため、打撃のタイミングにあわせて練習を中断すること。

- 8 コーチスボックスには、出場登録された選手が入ること。なお、コーチスボックスに入る者は、両耳付ヘルメットを着用しなければならない。
- 9 コーチスボックスにいるベースコーチは相手選手をまどわすような動きをしてはならない。また、グラウンド内外を問わず、サインを盗み知らせるような行為は絶対に行なってはならない。
- 10 選手の手袋、リストバンド、エルボーガード、フットガード、マスコットバットなどの使用については、対戦チームの不利益にならない範囲で使用を認める。
- 11 ごみは球場施設内に捨てず、必ず宿舎に持ち帰ること。スタンドで応援する選手、父母にも徹底すること。ただし、福岡 Yahoo! JAPAN ドームでは 所定のゴミ箱を利用できる。
- 12 試合中のボールボーイ（5名）は、出場登録外選手より一塁側（3名）・三塁側（2名）を手配する。なお、バット引きは、当該チームの出場登録された選手にて行なう。  
※2012 ホークスカップは初日の試合は球場担当リーグが対応する。
- 13 シートノック時の手伝いは登録外選手 3 名までとする。服装はアンダーシャツで行うこととする。
- 14 抽選は、最初に球審が当選くじを引き、両チームの最終回のメンバー各 9 名が、先攻・後攻の順(守備位置順) で交互にくじを引いた後、その当選くじと同じ色のくじを多く持っているチームを勝者とする。
- 15 スコアシートを担当は 1・2 回戦を各球場担当リーグ、準々決勝以降の試合を一塁側チームより登録外スコアラーを派遣する。スコア表は主催者が用意したものを使用する。
- 16 審判団へのお茶出しは 1・2 回戦は球場担当リーグ、ヤフードームでの試合は主催者より提供する。



---

## 注意事項

### ◆登録選手の変更について

出場登録選手の変更は7月30日(月)12:00をもって変更の受付を締め切ります。期日を過ぎての変更は一切認められません。

### ◆大会期間中の監督、コーチ、引率者の変更について

出場チーム登録された代表、監督、コーチ、マネージャーが大会期間中に仕事の都合など、止むを得ない理由により参加できない場合は、大会事務局まで速やかにご連絡ください。

変更理由が妥当と認められる場合は、所定の「出場登録メンバー変更届」に必要事項をご記入いただき、大会事務局までご提出ください。

### ◆開会式に必ずお持ちいただくもの

8月6日(月)の開会式の入場行進について、行進時は大会事務局が準備したプラカードと各チームの団旗を持って行進します。

※チームの団旗、旗棒は各チームでご準備ください。また、開会式の旗棒の長さは統一する。

### ◆開会式の際のシューズについて

8月6日(月)の開会式では、選手ならびに監督、コーチの皆さまはアップシューズでご参加ください。

### ◆ドームでのスパイク使用について

8月7日(火)および8日(水)にドーム利用の際、スパイク使用が可能なのはフィールド内のみとなっております。

試合前および試合後は、ダグアウトにてアップシューズへの履き替えをお願いします。

### ◆ドーム内のブルペンの使用について

入室は登録選手のみとする。また、捕手は捕手用具の着用を義務化する。

### ◆大会写真・映像の使用について

この大会をより多くの方々に知っていただき、九州・沖縄・山口地区の中学硬式野球を普及・発展させるため、本大会に出場する選手、指導者、応援団の皆様の写真・映像を主催、共催者および協賛・協力各社などで使用させていただくことがございます。



石村萬盛堂 Presents

2012 ホークスカップ中学硬式野球大会

---

◆試合会場でのゴミの持ち帰り

本大会は参加各リーグの皆様のボランティア協力により運営されております。そのため、試合会場で出たゴミは各自でお持ち帰りいただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

◆大会写真の販売について

大会期間中（開会式、1回戦～決勝、閉会式）の写真を、後日インターネット上で購入することが可能です。詳しくは大会期間中に配布する資料（共同写真企画）をご参照ください。

◆シートノックについて

シートノックの手伝いは各チーム3名までとする。

\*服装は、アンダーシャツを着用。

◆ボールボーイについて

ボールボーイ（5名）はヤフードームに限り、試合を行うチームから出すものとする。

選出：1塁側チームから3名、3塁側チームから2名

\*服装は、アンダーシャツを着用。

配置：1塁内野側 2名（ボールチェック1、運搬1）、3塁内野側1名、1塁外野1名、3塁外野 1名とする。

※初日（ヤフードーム以外）は、球場担当リーグが担当する（5名）

バット引きはさせないこと。（バット引きは自軍の出場選手が行う）

◆その他

【場内アナウンス】は両チームより選出し自軍のアナウンスを担当すること。

【スコアラー】は初日は球場担当リーグが行う。ヤフードームは1塁側チームが担当する。（放送室にて）